

第4問 次の文章を読んで、後の問い(問1〜6)に答えよ。(設問の都合で送り仮名を省いたところがある。)(配点 50)

大観末、魯公責宮祠婦浙右。吾侍公舟行、一日過新開

湖、睹漁艇往還上下。魯公命吾呼得一艇来、戲售魚

可二十鬣。小大又弗齐。問其真、曰、「三十钱也。」吾使左

右如数以钱界之焉。

去来未幾、忽遥见槳艇甚急、飞趁大舟矣。吾与公咸

愕然、謂「此必得人大魚乎。」将喜而復来、邪。頃已及、則

曰、「始貨爾魚、約三十钱也。今乃多其一。用是来、婦尔。」魯

公笑而却之。再三不可。竟還一钱、而後去。魯公喜。吾時

B

A

C

斗ナリ四ナリ矣ナリ。白まうス魯ス公ニ、「此レ豈ニ非ズ隱ニ者ニ邪ト。」公曰ク「江湖間人、不レ近ツカ」

市シ廛てんニ者類如シト此ク。今ハ以テ思フ之ヲ。今ハ人ノ被キルハ朱紫多キモ道ニ先王法言号シ士君子ト

吾ハ每ツネニ以ツテ之ヲ。今ハ人ノ被キルハ朱紫多キモ道ニ先王法言号シ士君子ト

又タ從ヘ騶スウ哄コウラ坐シテ堂上日フモノ貴人及ベバ一タビ觸レ利害校ク秋毫則チ其ノ

所ル守ル未ダ必ズシモ能ク尽クハ附セ新開湖ノ漁人一ニ也ニ。故ニ書ス。

(蔡條「鉄田山叢談」による)

(注) 1 大観——宋代の年号(一一一三—一一二五)。問其真由——疑由、昔對ニ

2 魯公——筆者蔡條の父、蔡京。

3 責宮祠——祭祀の任を担う。高官を退いた者があたるが、實際の職務はない。璣——來、魏、書、魚

4 浙右——浙江(錢塘江)の西の地域。筆者の父の隠居所がここにあった。

5 新開湖——現在の江蘇省高郵にあった大運河沿いの湖。昔、昔、公、世、言、日、敬、深、開

6 漁艇——小型の漁船。7 鱖——ひれ。魚を数える助数詞。

8 槳艇——櫓で漕ぐ小舟。9 市廛——商店のある街。

業、問

⑩ 朱紫——高位高官の者が身だつける服。

⑪ 先王法言——昔の聖王の遺したるの言葉。

⑫ 鶉哄——貴人を先導する従者。さきばらい。

⑬ 秋毫——わずかなもの。